

議会だより **せら**



旅立ちの春

p.28に表紙紹介

■今号の主な記事

- 当初予算123億円 2~3
- 日本一のふるさとづくりはこれだ 4~5
- 地域医療を考える集い 11
- ズバリ **町政の課題** 13議員32問を質す ... 14~27
- 元気な人紹介 28

No.49 平成29年4月14日発行
メールアドレス gikai@town.sera.hiroshima.jp

発行／広島県世羅町議会 編集／議会広報広聴調査特別委員会

鳥獣被害対策

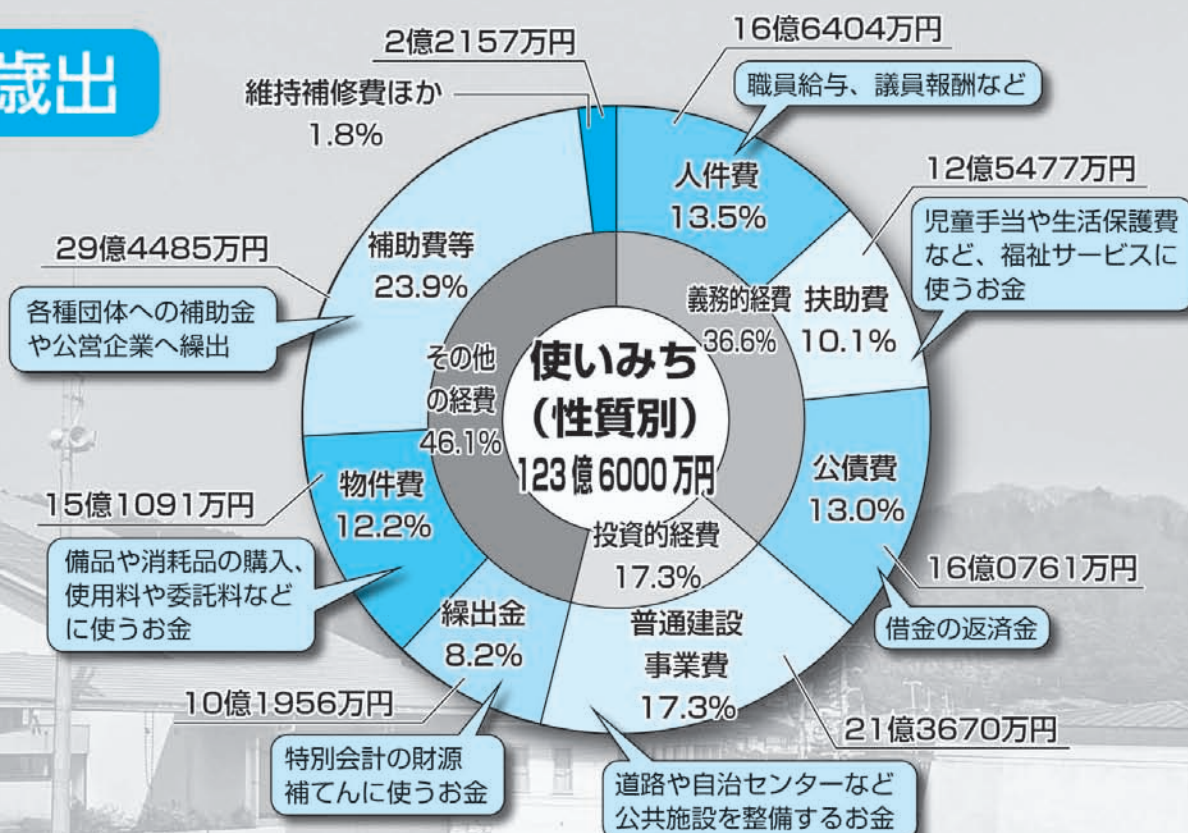
移住定住対策

鳥獣被害対策支援員の配置

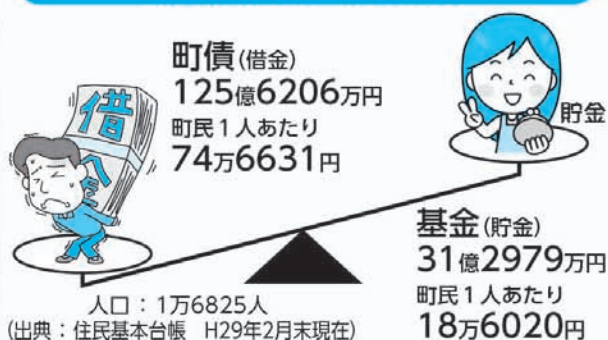
定住支援員の配置

平成 29 年度一般会計予算 123 億 6 千万円を賛成多数で可決

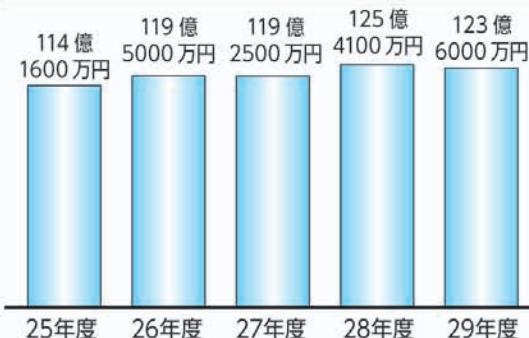
歳出



町債 (借金) と基金 (貯金) の状況 (30年3月末・一般会計分)



5 年間の一般会計予算の推移 (当初)



地域包括ケア組織体制の整備

生活支援コーディネーターの配置

平成29年第1回定例会

平成29年第1回定例会は3月2日から21日まで開会し、議案28件、報告1件、諮問2件、陳情2件、同意1件を審議した。一般質問は、13人全員が32項目にわたり施政を質した。

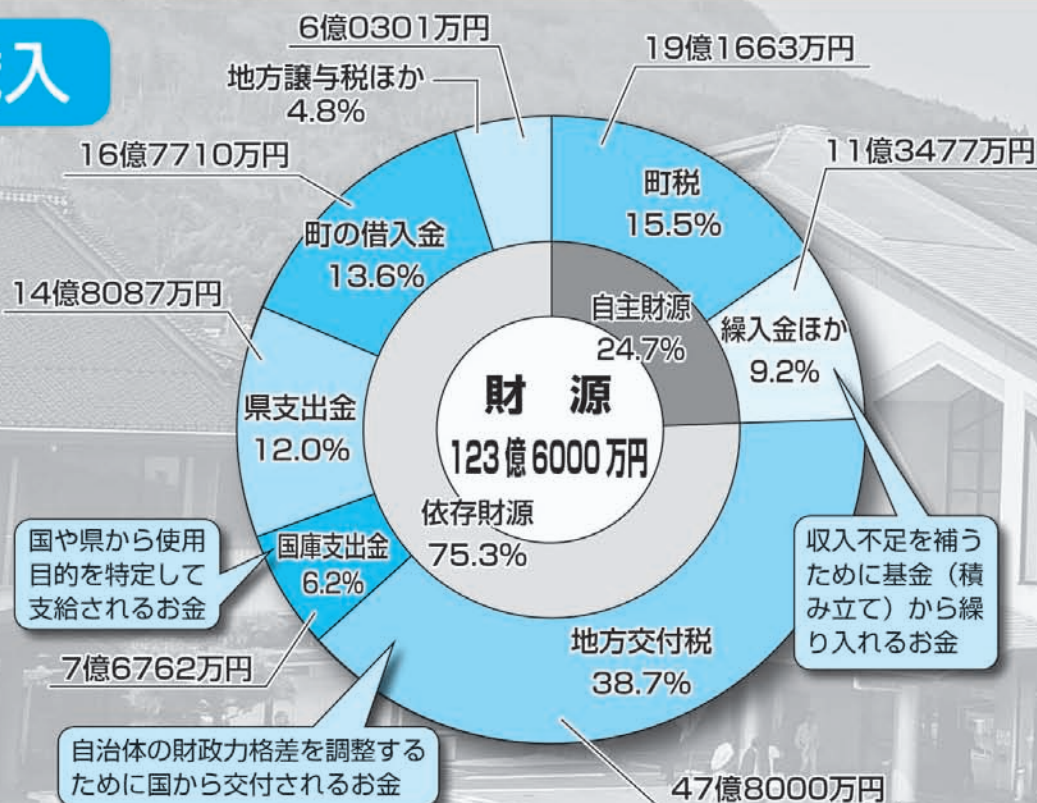
予算審査の経過

平成29年度予算案は、予算審査特別委員会において、3月14・15日の2日間、一般会計予算、特別会計予算及び公営企業会計について、集中審査した。

審査は、「施政方針と予算の概要に対する質疑」、「一般会計予算歳入歳出」、「特別会計予算」、「公営企業会計予算」、「総括質疑」の順に事業の概要・必要性などについて説明を受けた後、町長の方針を質した。

その結果、委員会ではすべての会計について、原案どおり賛成全員で可決すべきものとした（本会議の採決の結果は、12頁記載のとおり）。

歳入



■平成29年度各種会計予算額

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険事業	後期高齢者医療制度	介護保険事業	介護サービス事業	農業集落排水事業	公営企業会計	上水道事業	公共下水道事業	合計
予算額	123億6000万円	52億7964万円	20億3513万円	5億6431万円	26億1310万円	808万円	5902万円	11億9104万円	7億6454万円	4億2650万円	188億3067万円
前年度比	△1億8100万円	2319万円	1945万円	1249万円	△1224万円	173万円	176万円	8924万円	3908万円	5016万円	△6857万円

※万円未満を四捨五入のため合計額は一致しない。



いつまでも住み続けたい 日本一のふるさとづくりはこれだ!!

健康づくり



- ◎乳児用おむつ購入費等助成事業……………148万円
(1歳の誕生日まで購入費助成 ※上限あり)
- ◎生活支援等体制整備事業……………251万円
(地域における生活支援などの提供体制の整備)
- ◎手話奉仕員養成研修事業……………32万円
(聴覚障害者などへの理解を広める)

ものづくり



- ◎強い農業づくり交付金事業補助金 …… 3億3050万円
(ライスセンターの整備事業)
- ◎有害鳥獣処理解体施設整備事業……………280万円
(処理場の調査・設計)
- ◎農業競争力強化基盤整備事業負担金 …… 2000万円
(西大田地区ほ場基盤整備)

人づくり



◎ **学校トイレ洋式化事業**…………… **972万円**
(小中学校のトイレを年次的に洋式化する)

◎ **多目的スポーツ施設整備検討**…………… **53万円**
(検討組織の立ち上げ)

安全安心づくり



◎ **移住総合窓口設置事業**…………… **450万円**
(ワンストップ窓口に定住支援員を配置する)

◎ **ふるさとPR大使任命事業**…………… **10万円**
(ゆかりのある都市部在住者を任命)

地域づくり



◎ **小さな拠点整備事業**…………… **1億7812万円**
(小国自治センター整備)

◎ **地域若手人材育成事業**…………… **130万円**
(将来の担い手となる若者の活動支援)

平成29年度予算に

反対

賛成

反対

矢山 武

一般会計・国保・後期高齢者・介護保険・公共下水道の予算案に反対

町財政の安定化と住民要求の実現は難しい問題であり、ただ選択と集中を進める町政運営では住民のみなさんの理解は得られないと考える。

住民要求に応じていく町政を求める。

賛成

久保 正道

後期高齢者会計は適正・公共下水道加入促進を

後期高齢者医療特別会計は、広域連合に加入し、拠出金・負担金を出す会計で、医療費が増加傾向にある現状

賛成

新原 浩

常に事業の検証と改善を

目的基金を活用しながら事業を推進し、引き続き財政健全化の取り組みを堅持すべきである。

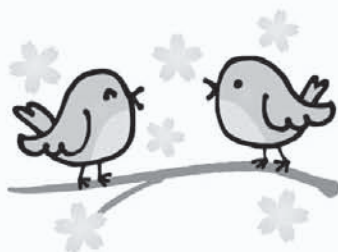
予算執行にあたり歳入、歳出バランスと各事業計画の検証と改善を着実に実施されることを期待する。

賛成

生田 智康

強い農業4点セットで

世羅町は農業の町である。「強い農業づくり交付金」「農業競争力強化基盤整備事業」「世羅ブランド支援事業」「鳥獣被害対策」など、基幹産業を維持強化する予算に賛成。



第一回臨時会

平成29年2月20日、第1回臨時会を開会し、議案2件、報告1件を審議した。

【審議した議案の概要】

① 世羅の宿ひがしの指定管理者に東自治会を指定することについて。

指定管理期間 平成29年4月から平成32年3月。

② 平成28年度補正予算（第7号）

主には、せらにし支所庁舎への太陽光発電設備設置事業と翌年度事業に係る債務負担行為。

以上2件の議案については、審議の結果、全員賛成で可決した。

【報告事項】

損害賠償に係る専決処分の報告を受けた。

報告します 委員会は 今



地域活動の拠点となる津名自治センター

新しくなった津名自治センター

総務文教常任委員会

現地調査

①津名自治センター
建物は、高齢者や車いすでの利用もスムーズにできるバリアフリーになっている。葬儀での利用もあり、「近くて便利が良い」との声が多い。

②小国自治センター整備について
平成29年度に移転整備する小国自治センターの移転先であるせらにし支所及びタウンセンターの改修・増築部分の説明を受けた。

事務調査

①過疎計画の見通しと地方創生事業の取り組み
過疎計画は、平成28年度から32年度までの5年間の事業を計上。平成28年度は133事業、約49億9600万円の事業費で執行、29年度は127事業、約45億8000万円を予定している。

②給食センターの再編整備について
世羅・せらにし共に建物や設備機器などの老朽化が進んでいる。児童生徒数も減少傾向にあり、運営の効率化を図る必要がある。

③町立保育所及び認定こども園の現状
平成29年度入所児童数の見込みは、町立定員合計150人に対して121人、私立定員合計420人に対して346人となっている。全体的に3歳未満児の保育希望者が増えている。

④児童虐待の実態と対応策
平成28年度の児童虐待通告・相談件数は、身体的虐待5人、(※1)ネグレクト6人、心理的虐待9人。所属別では保育所など7人、小学校7人、中学校4人、高校1人、在宅1人。虐待防止の取り組みは、保護者の心配や不安を解消するための子育て講座や、養育に関する指導、助言をする養育支援訪問事業を実施。

⑤移動支援事業の現状と課題
移動支援とは、単独では外出困難な障害者にヘルパーを派遣し、必要な介護を提供するサービス。社会福祉協議会に委託し実施している。主な利用は町内であるが、隣接市までエリア拡大している。事業所が1か所しかないことは課題であり新規参入を呼び掛けた。

(※1) ネグレクト…育児放棄

ごみの収集日が変わります

産業建設常任委員会



エコワイズセンター視察

現地調査

①甲世衛生組合（エコワイズセンター）
収集した可燃ごみをRDF（ごみ固形燃料）に加工し、福山リサイクル発電所に出荷している。センターの運営は、世羅町、尾道市（御調町）、三原市（久井町）の3市町で行っている。平成30年度末でごみの受け入れを終了する。

②世羅の宿ひがし
平成29年度から東自治会を指定管理者として運営される。
経営状況は、宿泊や仕出し部門も上向いており、施設利用はイベントや研修など行われている。冬期は宿泊が減少するので、薪ス

事務調査

トープの活用検討も含め効果的な施設運営を図る。

①請願・陳情の対応状況
平成28年度議会採択分について、説明を受けた。
道路改良要望については、一定の基準に基づき実施するとの考え方が示された。

②「ひろしま さとや ま未来博2017」
平成29年3月から11月の開催。
町内での取り組みは、住民講座コロザシ応援プロジェクトや中山間地域の魅力発信につながるイベントなどを予定している。

③家庭ごみ収集運搬業務
町内でのごみ収集方法の平準化のため、平成29年度末での戸別収集の廃止とごみステーション設置について方

向性が示された。

戸別収集の調査結果

種 別	甲山地区	世羅地区	世羅西地区
可 燃 ご み	724戸	532戸	0戸
資源化ごみ	0戸	200戸	0戸
不 燃 ご み	0戸	161戸	0戸

平成29年4月3日より収集日などを変更、祝日も収集する。（広報せら2月号に掲載）

④人・農地プラン
これまで、52地域でプラン策定。今回策定した広域プランは、畜産や施設園芸などの経営体も含まれ活用でき、経営発展の支援体制が整った。



世羅の宿ひがし

⑤鳥獣被害対策
平成29年度の施策としては、パトロール手当の拡充、新規狩猟免許取得受講料助成、鳥獣被害対策支援員配置などにより強化する。

⑥道路整備計画
道路改良工事については、通行上の危険性などにより緊急度、必要度が高い路線を優先的に行うと共に、事業効果等考慮し、部分改良により行う。

議員の政治倫理

について確認

議会改革調査特別委員会

① 議長の方賀状報道
に關しては、すでに全
員協議会で経過報告が
行われているが、この
事案を踏まえ公職選挙
法に規定されている
「あいさつ状の禁止」
について協議を行い、
年賀状などあいさつ状
については、答札のた
めの自筆によるものに
限ることを確認した。

また、香典や結婚祝
儀についても、法令に
従い、個々の責任にお
いて対応することを確
認した。

② 福田議員の不適切
なブログへの写真掲載
に關して、世羅町議会
議員政治倫理規程に基
づき、同僚議員から提
出された審査請求に対
する政治倫理審査会
の審査結果について報
告を受けた。

政治倫理規程は、議
員が正しい倫理観の
もとに議員活動を行う
ために世羅町議会とし
て定めたものである。
個々の議員が常に倫
理観を強く意識して活
動することを確認し
た。

③ 選挙権年齢が18歳
以上に引き下げられた
ことについて、若い世
代にも政治に関心を
持つてもらうために、
議会としても選挙管理
委員会など関係機関と
連携し、意識啓発に繋
がる取り組みを行うこ
ととした。

平成29年度議会報告会・意見交換会日程表

開催日時	場所	議員名	福田	重森	米重	高橋	山田	盛谷	矢山	久保	新原	生田	藤井	實久	下原	徳光
5月17日 19:30 ~	水	津久志自治センター					○	○		○	○	○				
		せら文化センター			○	○							○	○		○
5月18日 19:30 ~	木	黒川自治センター					○		○					○	○	
		宇津戸自治センター	○	○				○		○			○			
5月19日 19:30 ~	金	甲山自治センター		○	○		○					○				
		中央自治センター	○			○					○				○	
		大見自治センター						○	○	○						○
5月22日 19:30 ~	月	東自治センター			○		○					○	○	○		
		西大田自治センター	○					○			○				○	
		せらにシタウンセンター		○		○			○							○
5月25日 19:30 ~	木	津名自治センター			○	○							○		○	
		伊尾自治センター	○	○					○			○				
		山福田自治センター								○	○			○		○

※出席議員は変更となる場合があります。

世羅町議会議員政治倫理審査会報告

世羅町議会では、福田義人議員が本年2月に自己のブログ及びフェイスブックに町民の顔のみを削除した写真を掲載しインターネットで広く公表した問題について、世羅町議会議員政治倫理規程（以下「倫理規程」という。）第8条に基づき6人の議員で構成する政治倫理審査会を設置しました。

審査会では、福田義人議員の行為が政治倫理基準違反の該当の有無について、3月2日から3月10日までの間3回の審査を行い、3月10日付けで議長あてに報告書を提出しました。

【主な審査内容】

（1）審査に至った内容

福田義人議員が行った自己のブログ等への不適切な写真掲載行為について、倫理規程第3条に規定する「議会の品位と名誉を損なうような一切の行為を慎み、人権侵害をせず許さない。」の倫理基準に抵触するか否かの審査請求が2月28日付けで世羅町議会議員から議長に対し提出されたものである。

（2）当該議員の釈明について

釈明は、「今回の写真については、当該町民の方からブログへ写真を掲載しないよう申入れがあり、一般的に行うモザイク処理の方法とは違う写真修正ソフトを使用して顔のみを削除する方法により修正し、ブログへ掲載した写真が首から上が消えた心霊写真という指摘があったものです。これまでブログ等の投稿を毎日のように行っており、毎回次の投稿内容のことを考えている状況であったため、今回気が付かなかったものであります。悪意を持って意図的に行った行為ではなく、ご本人と家族の方に不快感を与え傷つけたこと深く反省し心よりお詫びします。」というものであった。

（3）当該議員に対する事実関係の聴取

この件については、審査請求の提出日以前にも学校関係者から嘆願書が提出されたことに関し、当該議員に対する事実確認を全員協議会で行っていることから、今回の審査に関する聴取は行わなかった。

【結論について】

審査会においては、客観的な事実に基づき公平かつ慎重に審査を行うとともに、議会の措置に関する審査会見解に関する協議を行った。

当該議員の釈明について、人権への配慮が欠如している、写真掲載拒否の意思表示があったにもかかわらず不適切な写真を掲載したことは問題である、指摘があれば修正するという考え方は人権感覚が麻痺している等の意見が委員から出された。

政治倫理基準抵触の有無については、倫理規程は町民から付託を受けた公職である議員としての基本的な行動指針であり、政治倫理基準

は公人として必ず遵守しなければならない事項であるということを踏まえ、今回の一連の行為は、「議会の品位と名誉を傷つけず、人権侵害をしない、許さない。」という政治倫理基準に抵触することを委員全員の総意で認定した。

また当該議員は、これまでも自己のブログ等への不適切な写真掲載行為について町民等から指摘されていることや、平成27年には自己のブログへの不適切な記事掲載により議会から辞職勧告が決議されているにも関わらず、再び同様の行為によって町民に対し不快感を与え不信感を抱かせたことは、議会としての措置を前回以下の内容とすることは適切でないという見解となった。

これらのことから、今回福田義人議員が行った行為は倫理規程に規定する政治倫理基準に抵触するという答申と、議会が行う措置については議員辞職の勧告を行うことが相当であるという見解を議長へ報告した。

【今回事案に対する措置】

議長は審査会報告を受け、議会の措置について議会運営委員会に諮ったうえで、3月15日に福田義人議員に対して倫理規程第11条に基づき次の措置を行った。

【措置の内容（概要）】

「今回の一連の行為は、政治倫理基準に抵触しており、人権侵害である行為であると認められ、さらには事案発生から2か月を経過しているにも関わらずいまだ事案の解決に至っていないことは、世羅町議会の信用を失墜させたものである。

議員の身分については、軽々に取扱うものではなく、出处進退は議員自身が判断するものであるが、今回事案の重大性を鑑み、議会に対する町民の信頼回復を図る必要性から、世羅町議会議員の辞職を勧告する」という措置を行った。

審査会の審査報告及び議長が行った措置については、世羅町ホームページにより公表しています。



東條 環樹 医師

助け合いの 地域づくりをめざして

「第4回地域医療を考える集い」開催

1月22日、世羅町、世羅中央病院企業団、世羅町議会の共催で地域医療を考える集いを開催した。

今回のテーマは「2025年を見据えた医療提供体制」

基調講演では、北広島町雄鹿原診療所所長の東條環樹医師から、高齢化率が50%に近づいている北広島町芸北地域での在宅看取りの体制づくりに取り組んでいる成功事例などを中心に、地域包括ケアシステムの構築について現状や課題を話された。

住民に対しては「自分の健康は自分で守

る」という健康教育や啓発を繰り返し、その結果、特定健診受診率は70%を超える成果が出ている。また、地域の高齢者施設の担当医

としてもチームケアによる看取りを実践し、在宅での看取りを積極的に支援されている状況が話された。

参加者に対して「どこでどのように最期を迎えたいか」と質問され、あらためて自分のこととして考える場面もあった。

パネルディスカッションでは「助け合いの地域づくりをめざして」をテーマに、4人のパネラーがそれぞれの立場で話された。

世羅郡医師会

瀬尾 会長

在宅医療における開業医の役割は多面的であり、担い手が減少する状況では限界がある。医療者側の

2025年問題もあり、世羅郡医師会の医師も半数が後期高齢者となる。

世羅中央病院リハビリテーション科

永富 医師

世羅町福祉課との協働で、町の常設サロンなどで実施されている介護予防事業に中央病院のリハビリスタッフを派遣し、参加者の運動評価や健康チェックを行っている。介護予防体操導入に伴う効果を検証し、結果を参加者に還元して運動継続の動機づけを行っている。

世羅中央病院訪問看護ステーション

宗金 施設長

病気や障がいにより、在宅で療養されている方のご自宅に看護師などが訪問し、医師、ケアマネージャーなどの専門職と連携をとりながら医療的ケ

ア、心のケアやご家族からの相談など「安心して家で生活できるように」当事者とその家族を支えている。

世羅町福祉課

森 保健師

地域包括ケアシステムとは、みなさんが暮らしていくために必要なサービスをまとめて提供する仕組み。そのためには、医療と介護の連携だけでなく生活支援への取り組みも重要であり、問題意識を

共有しながら地域の支援力を高めていくことが必要。

参加者の声

(アンケート)

- ・ 健診を受け自分の体の管理をしつかりしたい。
- ・ 在宅医療についてもっと具体的に聴きたい。
- ・ どの分野も労働力不足ということを改めて感じた。医療にかかる前の予防が大事。



100名近い参加者であふれる

請願・陳情を審査しました

3月定例会において、2件の陳情審査を行い、本会議で採決しました。

番号	件名	請願・陳情者	委員会の意見	審査結果
1	移動支援に関する陳情書	広島肢体障害者の会 会長 秋保 和徳	更なる調査研究を行う。	継続審査
2	平成29年度「給与所得等に係る市町村民税・道府県民税特別徴収税額の決定・変更通知書（特別徴収義務者用）」への個人番号記載の中止を求める陳情書	広島県保険医協会 理事長 長谷 憲	国の制度に基づいた管理のもとに進めていることであり、陳情の内容は制度にそぐわない。	不採択

人 事

人権擁護委員の推薦諮問を適任とした

見 藤 博 文 氏 世羅町大字黒川

中 島 誠 治 氏 世羅町大字津口

教育委員会委員の任命に同意した

宮 丸 和 也 氏 世羅町大字津口

広島県町議会広報コンクール



広報紙部門

特選

写真部門

入選

提出議案等の採決結果

第1回世羅町議会臨時会（平成29年2月20日）

議案番号	提出議案	採決	福田	重森	米重	高橋	山田	盛谷	矢山	久保	新生	生田	藤井	實久	下原
議案第1号	世羅の宿ひがし指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	平成28年度世羅町一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成

第1回世羅町議会定例会（平成29年3月）

（賛否の分かれたもの）

議案番号	提出議案	採決	福田	重森	米重	高橋	山田	盛谷	矢山	久保	新原	生田	藤井	實久	下原
議案第6号	平成28年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第12号	世羅町過疎地域自立促進計画の変更について（不燃物処理工場整備事業）	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第19号	世羅町農業委員会の委員並びに農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第21号	世羅町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第22号	世羅町建設事業分担金の徴収について	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第23号	平成29年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第24号	平成29年度国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第25号	平成29年度後期高齢者医療制度特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第26号	平成29年度介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第30号	平成29年度公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
陳情第2号	平成29年度「給与所得等に係る市町村民税・道府県民税 特別徴収税額の決定・変更通知書（特別徴収義務者用）」への個人番号記載の中止を求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●

○：賛成 ●：反対

（全員一致で決定したもの）

議案番号	提出議案	採決	議案番号	提出議案	採決
議案第3号	平成28年度一般会計補正予算（第8号）	可決	議案第15号	世羅町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第4号	平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	可決	議案第16号	世羅町税条例等の一部を改正する条例	可決
議案第5号	平成28年度後期高齢者医療制度特別会計補正予算（第3号）	可決	議案第17号	世羅町スポーツ施設設置条例の一部を改正する条例	可決
議案第7号	平成28年度介護サービス事業特別会計補正予算（第3号）	可決	議案第18号	世羅町介護保険法に基づく地域包括支援センターの人員及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第8号	平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	可決	議案第20号	世羅町農業者トレーニングセンター設置及び管理に関する条例を廃止する条例	可決
議案第9号	平成28年度上水道事業会計補正予算（第3号）	可決	議案第27号	平成29年度介護サービス事業特別会計予算	可決
議案第10号	平成28年度公共下水道事業会計補正予算（第4号）	可決	議案第28号	平成29年度農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第11号	町道路線の変更について（町道後山家支線）	可決	議案第29号	平成29年度上水道事業会計予算	可決
議案第13号	世羅町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決			
議案第14号	世羅町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決			

ズバリ 町政の課題

ただ
13議員32問を質す

ページ	質問者	質問事項
15	生田 智康 議員	1. 有害鳥獣対策の進捗は 2. ふるさと納税制度の活用は 3. 三川駅の利活用方策は
16	盛谷 光明 議員	1. 就労支援について 2. 除雪対策は
17	米重 典子 議員	1. 小規模事業者の支援強化策について 2. 「びんご圏域ビジョン」における取り組みについて
18	山田 睦浩 議員	1. 道徳の教科化について 2. 消防団の今後の展望について 3. 小、中学生のスマートフォン利用の現状とトラブル対策について
19	下原 嘉雄 議員	1. 高齢者の免許返納への環境整備は 2. 「ふるさと世羅」の文化継承策は
20	重森 博之 議員	1. 世羅大田庄の歴史、文化財について 2. 介護予防器具設置の考え方について
21	高橋 公時 議員	1. せらまちタクシーの現況と課題について 2. 世羅西区域における「交通不便者」対策は 3. 修学旅行「農家体験民泊」受入れのお考えは
22	新原 浩 議員	1. 町の消防水利の管理状況について 2. 町の新たな日常生活支援総合事業の取り組み状況は
23	矢山 武 議員	1. 農業、農協つぶしから、世羅農業をどう守るか 2. 老後の安心と今後の地方再生は 3. 就学援助の充実と早期支払いそして、奨学金への取り組みは
24	藤井 照憲 議員	1. 農業後継者・担い手の育成・確保について 2. 高速交通網の整備促進について 3. 東京23区との連携について
25	實久 誠 議員	1. 町の人権教育・啓発の推進について 2. 世羅町指定家庭ごみ委託収集業者の基準見直しについて 3. 町道側溝、法定外公共物の管理、指導について
26	久保 正道 議員	1. 少子高齢化対策についての施策を伺う 2. 生涯教育の取り組みについて
27	福田 義人 議員	1. 次年度ふるさと納税アップの施策は 2. 奥田町政 人材育成はどのように



生田 智康 議員

有害鳥獣対策の

進捗は

答 平成29年度予算に処理場の設計などの経費を計上

生田 今後の有害鳥獣対策の取り組みは。

町長 本年1月26日に大見自治センターで「知ってからやろう!! 鳥獣対策」を開催し、町民約70人の参加があった。今後も先進地視察、侵入防止策のモデル園の設置も考えている。

生田 処理場建設に当たり、近隣住民の理解は。

町長 近隣住民の方々への影響を考慮し選定したい。

ふるさと

納税制度の

活用は

答 世羅町の特産品を前面に出し全国にPR

生田 ふるさと納税の活用策は。

町長 寄附額は、平成29年1月末で543件1381万円。世羅町応援寄附基金に整理し、寄附者の意向に沿う事業へ有効に活用したい。

生田 米を活用し、米農家を応援したかどうか。

町長 笠岡市や他の自治体の事例も参考に、町の特産品として取り組みたい。

生田 返礼品として宿泊施設などの活用は。

町長 冬期での利用も含め、世羅を訪れる魅力が高まるよう検討していく。

備後三川駅の活用策は

答 観光施設などと連携した利用促進を

生田 過去5年間の利用者数は。

町長 1日当たり平均の延べ人数は、平成23年度18人・平成24年度21人・平成25年度24人・平成26年度22人・平成27年度17人。

生田 福塩線対策協議会の活動状況は。

町長 福塩線寄り道マップの作成、周辺でのイベントチラシの作成など、利用促進に取り組んでいる。

生田 町内観光施設との連携は。

町長 以前は、構成市町の観光施設をめぐるバスツアーなどを実施していたが、近年では行われていない。今後の検討課題としたい。

生田 ターゲットバードゴルフを活用しては。

町長 三川駅の利用促進の一助としての活用は可能。



利用しよう備後三川駅



盛谷 光明 議員

就労支援対策は

答 「無料職業紹介事業」
実施を検討

盛谷 世羅町のハローワークが廃止され、町民は不便を感じている。役場内で就職相談、紹介などできないか。

町長 現状は近隣のハローワークから送られてくる求人情報誌を本庁及びせらにし支所で書架へ配置し、情報提供している。

この取り組みの強化のため現在「無料職業紹介事業」の実施に向け検討を深めている。

盛谷 簡易な職業訓練・研修などの取り組みはできないか。

町長 認定基準により町は職業訓練の実施機関になることができない。

ハローワーク主催の求職者対象の研修などが町内でも開催されており、この周知活動を引き続き進めていく。

町道の除雪対策は

答 助成事業の実施に向け検討

盛谷 雪の多い所で、除雪に苦労されている人のため、町として何かの助成による対応はできないか。

町長 幹線道路以外の除雪対策は、現在の体制では十分ではないと認識しており、助成事業によって、より多くの町民に除雪の協力を頂けると考える。実施に向け課題もあるが検討する。



危険な雪道



米重 典子 議員

小規模事業者の 支援策は

答 後継者育成と持続的発展を重点に取り組む

米重 町内小規模事業者の現状と課題は。

町長 商工会員事業者数610者のうち、小規模事業者数は550者。経営者の高齢化の進展に伴う後継者の育成、事業承継が大きな課題となっている。

米重 支援事業の内容と利用状況は。

町長 平成28年4月に「小規模企業等の振興に関する基本条例」を施行し、商工会を通じて各種支援事業を実施している。

小規模事業者経営改善資金利子補給金は、38事業者に約243万円を交付。

人材育成事業は、後継者育成雇用支援として5事業者に190万円、研修等受講支

援48事業者に150万円、専門家派遣支援10事業者に84万円を助成。
小規模企業支援事業は、販売拡大支援として6事業者に32万円、持続化支援10事業者269万円を助成している。

米重 商工会との連携は。

町長 世羅町商工会との連携は、時代に即応した商工振興施策を講じるうえでも重要であり、今後も連携を密にして取り組みを進めたい。



各種助成事業パフレット

「びんご圏域ビジョン」の 取り組みは

答 地域の魅力を高め圏域全体の活性化につなげる

米重 ビジョン策定の経緯は。

町長 平成27年に連携協約を結んだ6市2町の備後圏域の市町が推進していく具体的取り組みとして「びんご圏域ビジョン」を策定した。

米重 広域連携の目的と事業内容は

町長 若い世代の大都市圏への流出を抑え、圏域全体の活性化を目的とし、産業支援コーディネート、ター派遣、地域包括ケアシステム構築、移住フェアの共同開催など取り組んでいる。

米重 各自治体の役割や費用分担の考え方は。

町長 事業ごとに中枢都市の福山市と世羅町がそれぞれの役割と費用分担を定めている。

福山市は事業実施に必要な費用を負担し、世羅町は事業実施に協力し利用実績に応じて負担する。



山田 睦浩 議員

道徳の教科化の考え方は

答 指導力の向上に努める

山田 平成30年度より教科となる道徳の展開と方向性について教育長に問う。教科化によるこれまでの道徳との違いは。

教育長 大きくは教科書の使用と評価の導入。

山田 検定教科書だけでなく、ふるさと学習の活用は。

教育長 今後も多様な教材を教科書と合わせ活用し、一人ひとりの成長を受け止め、数値ではなく記述式で評価する。

山田 科目が増えることにより教職員の負担は。

教育長 これまで同様の年間35時間の学習時間であり、負担が増えるとは考えていない。

山田 道徳の教科化に対する見解と今後の展望と方向性について。

教育長 今後は教職員の研修を重ね、資質、指導力の向上に努める。

消防団の

今後の展望は

答 団員確保に努める

山田 少子高齢化、過疎化が進むなか、生業の傍ら地域防災の高い意識のもと、活動する消防団の今後の展望について問う。

団員確保と定員・サポートは。

町長 条例に定める定員は700名、現団員数は655名。新規団員の入団促進に苦慮している。関係機関と連携し、広報誌やケーブルテレビなどでの呼びかけ、各分団各部署各班での募集に努めている。

山田 女性団員の任命の考え方は。

町長 世羅町では現在1名が活躍されている。男性団員と女性団員との差はないが、活動を限定した機能別団員や広報活動など、環境整備を検討していく。

児童生徒の

スマートフォン利用の

現状とトラブル対策は

答 適切な情報の提供を

山田 スマートフォン時代に突入し、道徳心が重要視されている。

児童生徒のスマートフォン、携帯電話の所持率は。

教育長 所持率は把握していないが、使用率は小学校で39%、中学校で38%。

山田 学校、保護者、関係機関との連携は。

教育長 各学校と保護者、県及び郡PTA団体、教育委員会が連携していく。

山田 町の取り組み、啓発活動は。

教育長 ネットモラルの啓発など、専門家を講師に講座や研修会を通じて学びを共有する取り組みを継続する。



下原 嘉雄 議員

免許自主返納への 環境整備は

答 外出支援事業により支援している

下原 中山間地に生活している高齢者の運転免許は、欠かせない生活ツールであるが、免許自主返納すべきとの議論がある。外出・行動が不自由なくできる環境をどのように整備するのか。

町長 平成24年度から実施している外出支援事業に、平成26年10月から新たに免許自主返納者を対象に加え、タクシー助成券を5年間を限度に、1ヶ月1800円分。せらまちタクシー利用券3万円分を1回交付している。

町民の安全確保のため、免許自主返納は有効手段と言えるが、交通手段の確保は重要な課題である。

「ふるさと世羅」の 文化継承策は

答 文化を通じたふるさと
回帰を

下原 地域文化を生かし、ふるさと回帰の流れを作って活力を取り戻すことが大事と考える。

歴史や自然、習俗といった文化資源や、都市部にはない「間・余白」を発信することも大きな活性化策と考える。併せ、里山、里地、里川など環境保全政策を推進し「心のふるさと」を現実化する。

現在も、地域では世代間交流を通じ豊かな自然、文化を代々伝承されているがさらに、町外へPRすることで、世羅へ、世羅へと誘導し「住んでみたい、訪ねて見たい世羅」の政策を提言する。

警長 町内各地域には神楽や太鼓などの民俗芸能、お祭りやとんどなど様々な文化がある。このような営みを代々継承されている活動を大事にすることで、ふるさと回帰へつなげたい。

地域文化、芸術のすばらしさに目を向け、本物に触れる喜び、感動を町民の皆様へ提供する。



ふるさと回帰



重森 博之 議員

大田庄歴史文化の

周知は

答 大田庄歴史館の看板は今後検討したい

重森 世羅IC出口に今高野山と大田庄歴史館の看板設置は。

町長 大田庄歴史館は世羅町の文化財を知って頂く拠点施設である。町外の方にも是非見学して頂きたいので、今後検討したい。

重森 主要道路に、愛称を付けてはどうか。

町長 道路管理者である広島県との手続きを経ることにより、国道に愛称を付けることは可能である。

本町では、観光案内看板の新設や既設看板の改修を平成21年度から平成27年度にかけ実施してきた、観光客にわかりやすい環境づくりを進めたい。



桜満開、大田庄歴史館

介護予防防器具設置

の考えは

答 民間事業者の有効活用を

重森 せらにシタウンセンターには筋力トレーニングマシンが設置されているが、世羅・甲山地区にも設置できないか。

町長 介護予防防事業では高齢者の機能レベルに合せ、運動内容や方法を変更できる専門技能を有する指導者が個別プログラムを実施するようにしている。

世羅・甲山地域では、筋力レマシンの利用し筋力保持を図るなどの民間事業者があるので、有効利用をしていただければと考える。

介護予防防事業は、筋力レマシンの使用した事業や身近な会場で運動に取り組める一般介護予防防事業、常設サロンや集会所などでの「いきいき百歳体操」高齢者筋力トレーニング教室などを行っている。

このように多様な事業を通して筋力低下防止、閉じこもり防止に努める。



高橋 公時 議員

せらまちタクシースの現状と課題は

答 高い評価を得ているが改善を検討

高橋 本町における交通弱者対策として、平成18年度から運行開始し、約10年を経過した「せらまちタクシー」の現状を問う。
10年経過のせらまちタクシーの現況は、

町長 平成23年度まで利用者は堅調に推移し、以降は徐々に減少傾向となっている。

高橋 「せらまちタクシー」の町民への周知状況・利用者の声は、



利用者とタクシーを繋ぐオペレーター室

町長 広報せらやケーブルテレビなど活用。主な利用者「高齢者」へは、サロンでの出前講座や、世羅警察署の窓口での周知にも取り組む。
2000名を対象にアンケート調査を実施し、「乗車時間が長い」、「荷物の制限がある」、「土日の運行や便数を増やしてほしい」などの声があった。

世羅西区域における「交通不便者」対策は

答 利便性が図られるよう検討

高橋 世羅西地区のタクシー会社不在に伴い「交通不便者」の方が増加している。

民間事業者による一般タクシーを町補助事業として世羅西地区にタクシー常駐の考えは、

町長 一般タクシーも含めた既存の移



動手段との連携、役割分担にも考慮しながら、世羅西区域の皆様の利便性が図られるよう検討する。

修学旅行「農家体験民泊」受入れの考えは

答 引き続き可能性を検討

高橋 観光地「世羅」の新たな取り組みとして修学旅行の受入れを。

町長 県内先進地の事例も研究し、現状では受け入れ農家の確保が大きな課題と認識している。引き続き可能性を検討したい。

高橋 「山・海・島」体験活動の受入れを。

町長 町内の受け入れ可能施設として、せらにし青少年旅行村・世羅の宿ひがしを、広島県を通じて県内小学校へ案内しており、関係者と連携し、取り組みを進めていきたい。



新原 浩 議員

町の消防水利管理

状況は

答 計画的な体制整備と維持管理に努める

新原 現在の消防水利の状況は。



防火水槽の確認を

町長 消火栓施設208か所、防火水槽416か所、その他河川や池など154か所の施設である。

新原 現在の課題は。

町長 大規模な火災などに早期対応するために消防水利の希薄地域を解消していく。

新原 管理体制は。

町長 防火水槽は、管轄地域の消防団に点検・補給をお願いしている。

町としては、表示看板の更新や侵入防止フェンス設置、老朽水利施設の改修及び修繕など、非常時の使用に支障が出ないよう管理をしている。

新たな日常生活支援 総合事業の 取組み状況は

答 地域での支援サービス体制づくりを推進

新原 平成30年から訪問介護と通所介護の一部が、地域支援事業に移管されるが、町の取り組みのうち訪問型サービスの進捗は。

町長 訪問介護事業所によるサービスは、町内の6事業所において実施、また住民主体によるサービスは現在実施していない。

新原 通所型サービスの進捗は。

町長 通所介護事業所による居場所づくりは町内商業施設を利用実施。住民主体による居場所づくりは町内9か所で実施。運動指導教室については、一般介護予防事業として筋力トレーニング教室を実施。

新原 各事業の課題と対策は。

町長 それぞれ実施している事業所、関係団体と意見交換しながら課題を把握し、可能な限り住み慣れた地域で安心して住み続けられる町づくりを推進する。



矢山 武 議員

農協改革と生産は

答 県・JAとの連携で世羅ブランド事業を

矢山 戦後の民主的枠組みを崩す、企業による儲けを優先する農政は、農協が立ち行かなくなる。農産物を買取り販売にし、信用・共済を別々にし、代理店化では営農指導ができなくなる。このような規制改革では、農協は守れないのではないが、地域を守り、農業を守る町の取り組みはどうか。

町長 解体的な改革であるが、慎重な議論が必要。経営強化への支援をし、目標を定めて連携を強める。

老後の安心と地方再生をどう図るか

答 住み慣れた地域で生活できるよう検討

矢山 農村の高齢化、過疎化が進み集落が守れなくなっている。お年寄りの生活は、収入が少ない中でサービスも受けられなくなるうとしている。

そこで、少人数の共同生活を、お互いが助け合いながらできる施設の提供が必要である。

地方再生のための取り組みをどうするかは、大変重要な課題ではないか。

町長 共同生活を地域で送る支援は、地域のつながりと地域の力が必要である。住み慣れた地域で生活できるよう検討していく。



就学援助の充実、早期支給、給付奨学金は

答 入学準備金支給の前倒しは今後検討

矢山 親の収入減でも教育が受けられる就学援助の拡充が求められる。早期に認定をし、入学準備に間に合うようにするとともに、生活状況をつかみ対応すべきである。

奨学金は給付を中心とすべきであり、卒業時に借金を負い、返済が滞る例もある。町として考えてはどうか。

教育長 準要保護の認定は、国の基準に準じ、生活保護基準の1.3倍以下を収入の基準としている。

入学準備金支給の前倒しは、全国で4.6%。通常は住民税課税額の確定する6月以降に認定しているが、今後検討する。本町独自で給付型奨学金を創設する検討は行っていない。



藤井 照憲 議員

農業後継者・担い手の育成・確保は

答 人・農地プラン（広域プラン）を策定し経営発展を支援

藤井 人・農地プラン（広域プラン）の必要性は。

町長 人・農地プランは、集落・地域が徹底的な話し合いを行い、農地問題の解決を図るため、「未来設計図」を策定する。町内未策定の区域において広域プランを策定し、中心経営体として支援する。

藤井 人・農地プランの課題は。

町長 集落などとして守るべき農地を明確にすることが重要な課題で、地域全体の維持・発展を考慮したプランの作成に係る話し合いを支援する。

藤井 世羅町の農業振興は。

町長 世羅町の特色として、水稻と園芸作物生産を生かす取り組みに変わることなく、農業者、JA及び行政機関が連携し推進する。

藤井 土地改良法改正案への思いは。

町長 農地中間管理機構の活用を進めるとともに、今後の事業動向を注視しつつ検討していく。

高速交通網の整備促進は

答 既存道路の活用は事業主体の判断による

藤井 広島中央フライトロードの建設は急務。

町長 今後とも粘り強く提案活動を継続し、早期事業着手に向けて、関係市町と連携を強化する。



整備が急がれる賀茂バイパス

藤井 国道432号「賀茂バイパス」の整備を急げ。

町長 完成年次は、広島県道路整備計画によると平成32年度の見込みとなっている。

東京23区との連携協定の活用は

答 地方創世新時代に向け持続可能な町づくりを

藤井 包括協定の内容は。

町長 東京23区と町が多面的な連携・協力を推進し、東京一極集中を是正し、共存・共栄を図ることを目的に、交流促進など、地方の活力創出を期待するものである。

藤井 具体的な計画は。

町長 現在取組んでいる移住促進や農業など、地域資源を活用し、特別区との交流を深めることで、本町での仕事と生活の提案を行い、人口減少を縮減する移住の呼び込みにつながりたい。



實久 誠 議員

町の人権教育・啓発の推進は

答 安心して笑顔で暮らせる世羅町の実現

實久 第2次長期総合計画では、「人権教育・啓発の推進が記載され、形骸化を総括し差別解消を推進する」としている。基本構想に記載している「形骸化の総括」は、どのように行ったか。総括により、原因と課題が明らかになったと考えるが、課題解決のための具体的な対策をどのように行うのか。

町長 自己啓発・自己研鑽に努めるとともに、人権問題への理解を深め、職員全体で再認識する。

實久 社会教育において、差別事象が実際に起きている以上、今後、学習内容や方法などについて精査を加え、人権尊重の意識の（※）涵養に、より一層努める。

指定家庭ごみ委託収集業者の基準見直しは

答 基準見直しは今後検討

實久 昨年、ごみ収集業務委託を一般競争にして業者選定基準の見直しに係る要望書を議会として採択した。契約違反の処罰はどのようにされるのか。

一般競争入札にすれば、ごみ袋無料化にできるのではないか。

町長 選定基準の見直しは、需給バランスを考慮し検討する。

ごみの排出量の削減を目的として近隣市町では、ごみ袋の有料化を進めており、ごみ袋の無料化は考えていない。

實久 委託業者の不適切な収集対応は。

町長 適正に収集運搬する事で地域の生活環境などの向上を図る重要な業務である。

委託業者の適正な収集が確保されるよう、引き続き指導を行う。

法定外公共物の管理は

答 法定外公共物は関係者の管理となっている

實久 永年に渡り維持管理が放棄され、水路部分が壊され、環境悪化から周辺から苦情が出ている。町の管理指導はどうなっているか。
（場所…世羅町寺町隅田・大手食品量販店付近）

町長 法定外公共物は、関係者に管理をお願いしている。

實久 家に車を入れる為、水路にグレーチングを税金でさせたのは、いかがなものか。
（場所…町道大休池田線が町道世羅中央線に接続する付近）

町長 町外からの観光客が道路端に脱輪したことから防止のため設置した。

（※1）涵養（かんよう）…自然に水がしみ込むように、徐々に養い育てること。



久保 正道 議員

少子高齢化対策の 施策は

答 教育支援制度の充実と介護保険料の抑制に努める

久保 少子化の要因を調べてみると家計での教育費に金がかかりすぎることが挙げられている。そこで、第二子以降に教育支援制度を検討してはどうか。

町長 少子化の要因は男女を問わず未婚率が高いことなど様々なことが考えられる。子育て支援の意見も聞きながら提案された教育支援制度については、現在住民にとって必要なものから事業化したいと考える。

久保 団塊の世代が後期高齢者となる2025年(平成37年)問題とされているが、問題ではなく課題である。

第6期介護保険事業計画では、介護保険料が平成32年7897円、平成37年9985円と推計している。現在の国民年金月額6万5000円では負担が重すぎる。今から高齢化社会の準備のために基金積み立てで、負担軽減の対策を考えてはどうか。

町長 世羅町のみならず、全国でその危機感がある。現在5900円であるが、このまま維持していけるか考える必要がある。介護保険は3年を1期として収支を合わせるよう指導が来ると思う。基金積み立てについては今のところ困難と思われる。まずは介護予防に力を入れて、保険料の抑制につながるよう努めたい。



課題山積！ 介護保険事業

生涯教育の

取り組みは

答 行政全体で取り組む

久保 教育委員会として取り組む所掌事務を教育長はどのように理解し、今後取り組まれるのか。
また、生涯教育の(※1)範囲をどう捉えているか教育長の施政方針を伺う。

教育長 世羅町においては、全課を挙げて生涯学習の充実に取り組む事を認識している。環境づくりについては行政が担う大きな役割の一つであると認識し、(※2)例規にはないが担当者を定めている。

久保 生涯教育の範囲である人権教育を町長部局で引き続き行うのか、再検討する考えはないか伺う。

町長 人権教育・啓発推進計画を策定し取り組んでいる。人権課題解決に向け、今後とも教育委員会部局という枠に捉われず、行政全体で取り組む。

(※1) 範囲 (はんちゆう) …範囲内

(※2) 例規 (れいき) …条例や規則等の総称



福田 義人 議員

ふるさと納税 アップの施策は

答 特産品の発掘や事務処理の迅速化で対応

福田 たった20000円で特産品がもらえる全国のふるさと納税の寄付総額は約1653億円と注目され、返礼品の特集雑誌が販売されるなど関心も高まっている。また、新聞紙上にも返礼品の産業効果や自治体の使い道など教育・子育て効果があったと出ている。

「ふるさと納税」制度専属職員が必要と提案してきたが、いまだ整備されていない。他の自治体では制度の活用に躍起となっている現在、ふるさと納税の体制が整備されなければ、納税収入より他の市町へ税が出ていく。町の本気度を問う。

町長 ふるさと納税は自治体間の返礼品競争が過熱してきている。

本町も魅力ある特産品を増やし、インターネットサイトを増やしてPR効果を強化し、事務処理の迅速化で新たな寄付者としてピーターの確保に努める。



人と自然が輝くまち 世羅町

ふるさと寄附金

世羅町ホームページ

人材育成は

どのようなように

答 適材適所の配置で能力を引き出す

福田 町政の推進と発展には、職員の潜在能力を引き出すことが重要な課題と考える。自治体における人材育成は世代間の継承が必要であり「経験7割、(※1)薫陶2割、研修1割」という言葉がある。組織の活性化には、人材育成が必要不可欠と思う。

町長 世羅町人材育成基本方針を策定し、町の未来づくりを推進する職員として、知識を深め、能力を高め、努力する品格ある人材育成を行っている。経験年数や職位に基づいた職員の適正・能力・やる気を最大限に引き出すとともに、組織目的・目標を達成することで町の活性化・住民サービス向上につなげる。

(※1) 薫陶(くんとう) …すぐれた人格で感化し立派な人間をつくること。

『花はみんなをしあわせにする』

農事組合法人 世羅高原農場 代表理事 吉宗 誠也 さん

ここ世羅の地で花の観光農園を開園され、今年で23年目を迎えている。

「昭和53年6月に誕生した葉たばこ生産の農事組合法人 旭鷹（きよくほう）農園から花の観光農園への転身の末、たくさんの方々に支えていただきたました。お陰様で夢が大きく花開き、チューリップの世羅高原農場、芝桜の花夢の里、バラの世羅高原花の森と3つの花の丘で季節の感動をお届けできるようになった」とのこと。

彼が代表を務めて随分月日が経っていますが、学生の頃は自分がこのような仕事をするとは思ってもしなかったそうです。彼は、元々都市部で仕事をしたいと思っており、高校は福山市内の学校で寮生活を送り、大学も長野県の文系の学部で学びました。

二十歳の時、当時農園の代表を務めていた父親が亡くなり、その時初めて自分の故郷を意識するようになったと故郷回帰の理由を話されました。

決心されたのは、世羅に戻って農園のアルバイトをしていた時、彼の仕事に対するモチベーション（動機づけ）となる出来事があったそうです。お客

様から「世羅は花も綺麗だけど、果物や野菜も美味しいし、人も優しい、空も広くて空気もきれいなねー」そんな言葉に、「自分の故郷を褒めてもらえる仕事なら、どんなに辛いことがあってもやっていける。」花畑を眺めながら決意を新たにされたそうです。

今も彼の原動力となっていて、「花はみんなをしあわせにする」花の観光農園の運営を通じて、世羅にお越しただくお客様、農場を支えてくださる世羅の皆様、そして農場で働く従業員、みんなが幸せになる仕事を続けていきたい。」と皆様への感謝とともに、世羅高原農場の夢を熱く語られました。

（藤井 照憲）



表紙紹介



平成29年3月23日、町立せらにし小学校において卒業式が執り行われた。元気いっぱい22名の子どもの目は輝きに満ちて、将来、みんなと一緒に学んだことと感謝の気持ちを忘れず、大きな夢を持ち続け失敗を恐れず羽ばたいてもらいたい。

編集後記

光陰矢の如し、時の経過は早いもので、6年前の3月11日に発生した東日本大震災は、私たちが過去に経験したことのない未曾有の大災害でした。

昨年は熊本県・大分県や鳥取県の地震災害、北海道の豪雨など災害の多い一年でした。いまだ故郷や自宅に戻れない被災者もおられますが、一日でも早く普通の生活に戻れる事を願っています。

「いつまでも住み続けたい日本一のふるさと世羅」を目指す奥田町政2期目の29年度予算及び議案審議を3月21日で終えました。

議会だより編集にあたり、専門家のアドバイスや研修で学んだことを念頭に置き、親しみ易く関心をもつて読んでいただける広報誌に取り組んでいきます。議会・議員の使命と責任・二元代表制を更に自覚し、倫理感をもって今後も努めて参ります。

（久保 正道）

議会を傍聴してみませんか
次回の定例会は6月です

日程は無線放送でお知らせします。
またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

議会広報広聴
調査特別委員会

委員長／米重 典子
副委員長／新原 浩
委員／高橋 公時・山田 睦浩
久保 正道・藤井 照憲

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。